

2021年7月21日

需要家 各位

横須賀地区生コンクリート協同組合  
理事長 沼田 正信



### 暑中期におけるレディーミクストコンクリートの納入について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊協同組合の運営にご理解を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて近年の地球温暖化による異常気象の影響により、神奈川県下においては最高気温が35°Cを超える猛暑日が多くなってきております。このため、暑中期において製造時のコンクリート温度が35°C近くになることが多々あり、納入時に35°Cを超えてしまうことが懸念されます。他地区では35°Cを超えているため返品という事例が発生していると報告を受けています。

暑中期のコンクリートに関しては日本建築学会「暑中コンクリートの施工指針・同解説」が2019年に改訂され、コンクリートの性能が低下しないよう適切な対策を講じることにより受入時のコンクリート温度の上限値は38°Cにできると記載されています。

また、JIS登録認証機関では、コンクリート温度の上限値を38°Cに社内標準化することでJIS規格適合品として認めています。

弊協組組合員は、全ての工場で社内規格を改定し、JIS登録認証機関の承認を得ており、荷卸し時のコンクリート温度が38°C以下であれば、JIS規格上問題がない体制を整えています。しかしながら、納入現場で受入基準を35°C以下とされている場合は、工場はJIS規格適合品として品質に問題のないレディーミクストコンクリートを出荷しても、現場の基準によって受け入れを拒否されることとなります。

このような状況では現場にご迷惑をお掛けする事態の発生が考えられることから、工場はレディーミクストコンクリートの納入をご辞退させていただくことがありますことをご承知ください。

需要家各位におかれましては、コンクリート温度が35°Cを超えた場合の対応について登録販売店の担当者様とよくご相談いただき、ご指示くださいます様お願い致します。

近年、夏期の外気温が高くなる傾向にあることから、暑中期におけるレディーミクストコンクリートの納入に関しまして是非ともご理解とご協力をお願い致します。

敬具